

平成29年3月6日

第六ブロック会代表 金山様、馬場様、松瀬様  
砧小父母会長 中村 和昭 様  
砧南小連絡係代表 伊藤 雅代 様  
千歳小父母会代表 高島 幸弘 様  
塚戸小父母連担当 門田 晶子 様  
明正小父母会長 飛田 茂実 様  
山野小父母会長 里田 香織 様

子ども・若者部児童課長 有馬 秀人  
教育委員会事務局生涯学習・地域・学校連携課長 土屋 雅章

### 要望書に対する回答書

日頃より、新BOP事業を始めとする児童の健全育成にご協力を賜り、感謝申し上げます。

平成29年度要望書につきまして、とりまとめ下記のとおり回答をさせていただきます。

#### 記

#### 1. 職員の配置の改善、増員、及び確保について

##### 【回答】

区の配置基準に基づき人員を確保してまいります。なお、32年には国の認定資格取得者の配置が必要なため、職員が資格取得に向け現在、国の研修を受けています。ご理解をお願いします。

#### 2. 緊急時、大規模災害時の保護者との連絡方法の改善、連絡手段の整備及び情報発信（保護者用PC設置、携帯電話、メール及びLINEの導入）

##### 【回答】

区ではメールやツイッターで緊急情報を発信しております。災害・防犯情報メールを登録していただくとメールが届きますので、情報収集をしていただくことをお勧めいたします。

なお、新BOPにおいて今後対応が変更となりましたら、皆様にお知らせいたします。今後も改善に向けて取り組んでまいります。

### 3. 育成時間の延長

#### 【回答】

学童クラブの利用にあたっては、入会している1年生から3年生の間に、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、年齢に応じた自立した生活づくりができるようそれぞれのお子様のサポートを行っております。

また、学童クラブの時間延長につきましては、平成26年に学識経験者、小学校長及び保護者代表等による「子ども・子育て支援制度及び新BOP事業に関する検討委員会」を開催し、今後の新BOP事業の方向性について話し合いを行い、その中でも検討いたしました。検討会では、利用時間の延長を求めるご意見がある一方、子どもたちを長い間、学校にとどめないほうがよいといったご意見もございました。

区といたしましては、子どもの生活リズム、放課後を過ごす時間、家庭での生活時間の大切さ、また、子どもが一人で安全に下校できる時間帯なども勘案して新BOPを運営してまいります。

### 4. 学童登録対象学年の拡大

#### 【回答】

区は、放課後の遊び場であるBOPと学童クラブを統合し「新BOP」として一体的に運営している特色をいかし、学童クラブは3年生までを基本とする一方、4年生以降、6年生までをBOPで見守ることとしております。

これは、3年生までは学童クラブで生活面の自立に向け支援し、4年生からは行動力もつき自分のことは自分でできるようになるので、見守りながら必要に応じ支援していくことが児童の成長に大切であるという区としての考えによるものです。

ただし、学童クラブを終了し、4年生になってもしばらくの間は、時間管理や一人で過ごすこと等に不安がある児童もおります。こうした新4年生については、保護者と相談し、BOPを利用することを基本としながら、「ゆるやかな支援」として継続した支援を行っております。

また、配慮を要する児童に関しては、6年生まで学童クラブを利用できます。

※ゆるやかな支援とは…学童クラブを卒所した新4年生のうち、自宅でひとりで昼食をとることに不安がある児童を対象に、夏休みまでBOPに弁当を持参して過ごしていく中で、自立に向けた支援を行っていくことや、帰る時間を誘導したりすることです。

区では、子どもたちの安全な遊び場として地域の児童館やプレーパーク等で小学生の放課後の時間の活動支援をしており、引き続きこうした場所もぜひご利用いただけたらと思います。

## 5. 各ブロック会会合へ参加を

### 【回答】

1つのブロック会のみ参加するわけにもまいりませんので、全ブロック会への参加は困難であることをご理解ください。